

# 新体制発足で初心を大切に応援活動続けます！

## 実行委員長の高校1年亀山心華です。

中学1年生から募金や地域のボランティア活動などをしてきました。中学3年生の頃には東日本をはじめとした多くの災害で被害に遭われた方々達を支援するこの活動を沢山の人に伝えるためにオリンピックのランナーに応募しました。結果的には落選してしまいましたが、この活動を多くの人に伝え、ボランティア活動に貢献して、そこから沢山の事を学んでほしいという思いは変わっていません。今後の活動としては日本だけでなく世界を視野に入れ、募金活動だけでなく自分達で被災地の現場に行き、現地の人達と関わることを目標とし、災害や防災などの知識を身につけていこうと思います。自分自身もまだまだ未熟で知らないことも多く頼りないところもたくさんあると思いますが、自分なりに一生懸命頑張り、よりよい委員会活動を行っていきたいと思っています。応援よろしくお願い致します。

## 副実行委員長の高校1年の宮本美結です。

中学1年生から東日本被災地応援実行委員会に入っており、毎月の募金活動、地域の催し物等での委員会の普及活動、被災地で作られた特産物などの販売を行ってきました。震災を風化させないように、同級生、先輩方や先生方と共に協力しながら活動を続けてきました。これからの委員会は、委員のメンバーが主体となって活動できるものにしていきたいと思っています。委員ひとりひとりが活動についての考えを深め、活動に対して真摯に向き合える、そんな委員会を目指していきたいと思っています。また、東日本大震災の被災地の為への活動は勿論のこと、これからは国内外問わず、世界に目を向けた活動を行っていききたいと思っています。生徒の皆さん、教職員の皆さん、保護者の皆様方には、これからも委員会の活動へのお力添えの程、お願い致します。委員会の更なる発展を目指して全力を尽して参ります。

# 非常時に防災袋を！



新入生の防災袋を教室に備えるために、委員のメンバーが袋詰め視教室に配置しました。中身を使わないでね。

中身はマスク2枚、カロリーメイト1箱 軍手、水1本



# YWCA 主催「防災お話し会」に参加しました

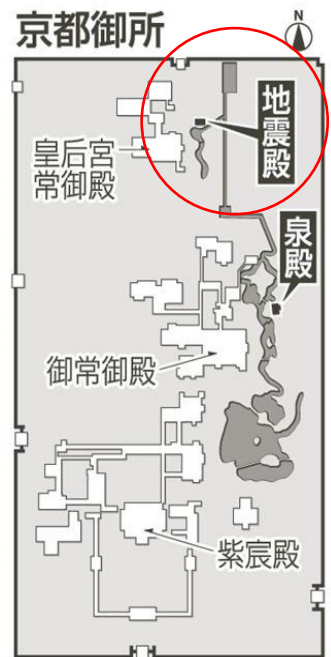
9月10日、ZOOM（オンライン会議サービス）を使って「防災お話し会」に参加しました。講師は、日本防災士会京都府支部副支部長を務める太田興さんでした。講演の内容は、①日本の地震被害を歴史から学ぶ ②阪神大震災が起きたときの状況 ③いざ自然災害にあったときどんなことが役に立つか について語って戴き、日頃の想定が大事だということがわかりました。



（京セラドーム付近）

← 紹介された大阪川口にある石碑  
安政2年（1855年）に起きた大津波の教訓を今に伝えている。

京都でも文政13年（1830年）に → 直下型地震が起きている。御所の中には天皇の避難場所として地震殿があることも知る事ができた。



日本のどこにいても自然災害に遭遇する可能性があります。みなさんの自宅、通学・通勤ルート上のどこで起きたとしても、どこに救命具が備えてあるか考えた方がいいです。自主避難と同じくらいに、被災した人を助けることも大事です。野外活動（キャンプ）の知恵や、近所付き合いなど、普段のコミュニケーションを意識的に行うことも大いに役立つはずですよ。

## 参加した高校生の感想

これまでの震災の被害と防災への取り組みが時代と共に変化してきたことを知ることができました。歴史から被害状況をしっかりと把握して、次の大震災の対策へ活かす必要があると思いました。挨拶など日頃の地域交流を欠かさず、連絡の手順や避難経路の確認などに取り組みたいと思いました。また講演の中で話題にあがった HUG（避難所ゲーム）や防災キャンプに挑戦したいです。（高校3年 小川凜子さん）

YWCA の講演会を通して、正しい防災の知識を教えてくれたおかげで様々な学びがありました。今は新型コロナウイルスの影響で、もしものときに思ったように避難できるとは限りません。在宅避難の際に役立つ知識を教えていただいた点が特によかったです。教えていただいたことをこれからも活かせるように、日頃から頭の片隅に災害が起こったときの想定ができるように心掛けたいです。（高校3年 秋田風香さん）



中学3年生は長崎に修学旅行に行く予定です。ユネスコから世界ジオパークに指定されている「がまだすドーム」を見学します。1990年に発生した噴火活動を学習し、防災の知識を深めます。

中学3年生 修学旅行  
雲仙普賢岳 がまだすドーム  
に行ってきます!!